



「感謝のつどい」 地域の方に「ありがとう」を伝える会 1～6年生

●3月5日(水)2時間は前期課程1年生から6年生が第一体育館に集まり、「感謝のつどい」を開催しました。この1年間、学校の授業や行事に参加いただき、お世話になった方々を学校に招いて感謝を伝える会です。



●今年、前期課程で地域ボランティアの方々にお世話になった主な学習は以下の通りです。
「七草摘み」「やきいも」「浄瑠璃音頭」「昔あそび」「九九」「おもちゃランド」「草木染」「警察官インタビュー」「消防署見学」「BOX 見学」「役場見学」「能勢分校農場ブドウ収穫」「野間の大けやき見学」「鍋敷き作り交流(三恵園)」「川あそび(漁業組合)」「田植え稲刈り」「エプロンミシン援助」「しめ縄づくり」「ボルツ工場見学」「キンパづくり」「森林学習(森林組合・林業士)」「城めぐり」「戦争体験ききとり」「絵本読み聞かせ(声の宅配便)」「けやき・ささゆりマラソン立ち番」「登下校立ち番」等でした。

●上記のとおりくみでお世話になった123人の方々に各学年担当や子どもたちから案内状を出しました。当日、朝早い時間帯の開催でしたが、35人の方々にご参加いただきました。子どもたちは地域の方々に逢って直接体験し、心を動かされ、豊かに学ぶことができました。このような地域の方々とふれあい体験によって、子どもたちは、能勢に愛着を感じ、能勢が益々好きになっていくのだと感じています。9年間、地域の方々に支えられている子どもたちは本当に幸せです。

●6年生の児童会代表が司会を務め、ボランティアさんの入場、ボランティアさんの自己紹介、そして、今年、各学年でボランティアさんと共にこなしてきた活動スライドの上映、児童代表あいさつ、ささゆりネットの古谷会長からあいさつがありました。

●児童からのプレゼントは、6年生の合唱と全校児童合唱でした。6年生の合唱曲「いのちの歌」は、「♪生きてゆくことの意味、問いかけるそのたびに・・・♪♪」の歌詞に気持ちを込めて歌いました。涙される方もおられました。感謝の気持ちがボランティアさんの心に届いたと思います。1曲目「校歌」では、能勢の名所旧跡・伝統文化・地名が随所に出てきます。また、2曲目「すてきな友達」は、「♪人はみんな誰でも 一人では生きていけないから いつも素敵な友達とこの手をつなぐのさ・・・♪」歌詞に思いを乗せて歌いました。最後に一緒に記念撮影をしました。

●帰り際「子どもたちの歌に感動した」「涙が出てきました」「歌、ほんま上手やね」「来てよかったわ。」との感想をお聞きしました。1年間、本当にありがとうございました。

